

(「一寸先は光です」)

校長だより

平成30年2月2日(金)

第26号

「我が子を入れたくなる学校をつくりたい」(初代校長)

那覇西高等学校長 長濱 雅仁

「いつも太陽の光に顔を向けていれば、影を見ることはありません」—ヘレンケラー—

◆県内外大会結果・合宿・コンクール等

- 平成29年度沖縄県青少年赤十字表彰受賞：那覇西高校ホラティア部【1/25(木)於豊見城市中央公民館】金城志穂(3-3)久場桃衣(3-5)島袋すす(3-7)砂川い愛(3-1)新田愛香(3-8)前田楓夏(3-7)山田真帆(3-5)
- 平成29年度那覇市学校ホラティア活動実践者表彰：那覇西高校男子サッカー部【1/27(土)於イナ那覇】
- 男子サッカー部：新人大会決勝で宿敵那覇高校に1-0で勝利。昨年1回戦負けから見事復活しました。
- 男女ソフトテニス部：新人大会決勝で団体戦、個人戦見事バツ優勝！宿敵名護を倒しました。
- 男女駅伝部：新人駅伝大会男子3位、女子4位でした。次年度は「必ず男女とも京都へ」と喜納監督は燃えに燃えています。「校長、やはり、琉球絃よりは西陣織りが綺麗ですよ！」アサヒヨー！
- 剣道男子ベスト8、軽音楽部コンサート参加健闘！ダンス部、野球部、バドミントン部、バレー部等も猛追しています！

■校内外の小さな変化・成果がありました！気がついたでしょうか？

- 毎朝6時前、多くの部活動の部員達が、部室・体育館内の刊を集めて集積場(刊)に捨てて来ています。校内が見る見る綺麗になっているのは、彼らのおかげでもあるのですね。(自利利他)
- 1/26(金)卒業献血が行われました。多くの生徒が社会貢献してくださいました。感謝、ソレハ、ニマシ！
- 修学旅行2学年団、歴史的大雪の中、無事終了！特にアキに感激したようです。皆アキは大アキよ！
- 校内を巡回しているとAさんが「1月31日はあいさいかの日ですよ、知っていますか」と話しかけてきたので「もちろん、昔からあいさい(ハイイ)おじさんという歌があったよ」ウレハートー！

校長武辺話

—30年前の真和志中学校創立40周年回想録—

真和志中学校にかつて3,000名の生徒が在籍していたということを知っていますか。真和志中がウレハートは一周130mしかありません。そこに3,000名の生徒ですので普段から「前ならえ」は、自ずと「小さい前ならえ」になるわけです。ですから中体連地区陸上などでは、「真和志中」の生徒は前ならえで見つけることができた、というレコードが残っています。私は、真和志中に転勤するやいなや、水泳部を新設しました。部員はすぐに50名ほど集まりました。当時の仲間校長先生が「4月から水泳専門の先生が来る」ということを小学校の学校説明会等で話されていたそうです。ある日、校長先生に呼ばれ、「今年は創立40周年でもあり、水泳部に是非優勝してほしい」と言われたので、「校長、水泳は彫刻のようなものです。書道や絵画のようにはいきません。3年はかかります。」と話すところ「そうか。」と肩を落とされたので、「駅伝を強くしましょうか。校長の退職に間に合うかもしれません。」と話すところ「そうか。それでは、よろしく」とうれしそうな表情をされました。6月の地区中体連が終わるやいなや、男子はリダ-性のある親泊君、女子は名嘉真さんと呼ばひ(共に3年生)「駅伝部をつくりたい。8名から10名集めてきてほしい」とお願いしたところ、「先生、これまであまり出場していないよ。出て松島中と24位争いだよ。」と素っ気ない返事が返ってきました。それでも「優勝目指すぞ。頑張ろう！」と再度お願いしました。結果10名ほどずつ集まり、早速、練習を開始しました。夏休みには先生方から協力金もいただき、久米島合宿も行いました。事務室前には「駅伝がザイヤ」をアキアキと横断幕を掲げました。毎週3本の記録会を行い、アキアキのタイムを靴箱に表示して行きました。その結果は、男子準優勝、女子4位。創立40周年に何とか花を添えることができました。多くの区間賞を頂いた選手達は今でもその賞状を誇りにしているとのこと。真和志の生徒達が自転車であらびから与那原街道を必死に応援している姿は、校長の「心のふるさと」の1アキアキを飾っています！

Once we share goals, we are all brothers and sisters! 【Team Mawashi-tyu】